

平成24年度第3回川崎区区民会議「すこやか・共に生きる部会」

日 時 平成24年9月12日(水) 午後6時30分

場 所 川崎区役所7階会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 7人

石渡勝朗、小泉忠之、鈴木真、高橋ロサ、原千代子、深澤香織、新井トキ子

(2) 参与 0人

(3) 傍聴 0人

1 開 会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、配付資料の確認>

2 議題

(1) すこやか・共に生きる部会の審議内容の振り返りについて

石渡部会長 前回も人数が少なかったもので、重複するような形で更に討議を行いたいと思います。前回をもう一度振り返って、資料1をご覧ください。左側が第1回部会で検討された内容で、皆さんから出された課題から3つのテーマを決めました。右側が第2回部会で3つのテーマに対して、出された意見を載せています。出席者が少なかったもので、十分な意見交換が出来ていないので、本日は更に意見の補足をしたいと思います。

原委員 審議課題を絞るということですか。

石渡部会長 第2回は、テーマの設定を行いました。

原委員 2. 子どもを地域で支える、子どもの生きる力についてですが、(1) 子どもの生きる力をつけるために、相談できる場所等とありますが、具体的にどのような取り組みがされているか、もう少し踏み込んだ形で話せたらと考えています。

石渡部会長 具体的なご意見もいいのですが、取り上げるテーマが他にもあればということとです。テーマ2. のところでもう少しこういう点を考えていきたいということがありましたら、出して頂きたい。区民会議では、問題・課題を発見してそれを調査・研究して、具体的なイメージが出てきたら、区長に提案する形になります。提案する場合には、抽象論では、提案にならないので、最終的には具体的なイメージを作り上げて提案する。第3期では、具体的な実践もあわせながら、出前講座やカローリングを実施して、検証しながら、こういうものが有効であると区長への提案をしました。今日は、取り上げるべきテーマを考え、こういう方向性で行きたいというお話で、具体論があった方が助かります。

原委員 2. 子どもの生きる力のところで、各子ども文化センターや「わくわくプラザ」とかで宿題の取り組みをしてほしいと言われてたりしますが、わくわくの中では、それが出来る環境ではなくて、中学生の子の進路相談が課題になっている。川崎市の中で川崎区は、生活状況が困難な家庭が多い中でどんな取り組みが具体的に進めていけるのか、話し合えたらと考えています。

3. 外国人市民も住みやすいというところで、高橋委員の周りで暮らしているフィリピン人市民の方が、多言語情報が進んできたにも関わらず、情報が届いていないというお話がありました。それがどうしてそういうふうになっているのかを今回の区民会議の中で、検証できればと思っています。川崎区役所の職員の方が、外国人市民の方からいろんな問い合わせがあって、対応にどんな苦勞をされているのか実際に話を聞きたい。

いしわた ぶ かいちょう ふかざわいいんなに ごいけん しつもんなど
石渡部会長 深澤委員何かご意見・質問等ありますか。

ふかざわいいん てーま き ひ つ
深澤委員 テーマとしてこの3つということで、3期を引き継いでできていることもあるの
おも すす うえ ぼーじょんあっぷぶ しりょう かわさき
かなと思います。進めていく上で、バージョンアップをしていく。資料3をみて、川崎区
じゅしんりつ ひく じつかん じぶん こ よぼうせつしゅ じぶん けんしん あらた
の受診率がこんなに低いと実感しました。自分の子どもの予防接種や自分の検診も改め
て、きちんと受けないといけないと思いました。

いしわた ぶ かいちょう き ひ つ ぶぶん さら ぼーじょんあっぷぶ かたち
石渡部会長 3期を引き継いでいる部分もあり、更にバージョンアップしていく形でい
おも きほんてき き はぶ かんが かるーりんぐ
いと思いますが、基本的に3期でやったことは、省こうと考えています。カローリングを
き さくねん たじまちく ことし たいしちく
4期でやるわけではなくて、昨年は、田島地区でやっていましたが、今年は、大師地区で
おこな らいねん ちゅうおう ほう ちく いただ おも じたい
行われました。来年は、中央の方の地区でやって頂ければと思っていて、それ自体が
はってん
発展している。

あらいいいん よぼうせつしゅ もんだい いま 民生せいいいいん あか ほうもん にゅうようじ
新井委員 予防接種の問題ですが、今、民生委員が赤ちゃん訪問をやっています。乳幼児の
けんしん けんしん よぼうせつしゅ ほけんじょ う にゅうようじ つ でんしゃ
検診がいろいろあって、健診や予防接種を保健所で受けるのに乳幼児を連れて、電車や
ばす の ベビーカー く たいへん はなし き し ばあい よ
バスに乗って、ベビーカーで来るのが大変だという話を聞きました。1子の場合は、良
し し ほか こ み けんしん つ い たいへん ちかば
いが、2子・3子になると他の子どもを見ながら健診とかに連れて行くのが大変。近場で
けんしん よぼうせつしゅ う ぼしよ いぜん たいし こそだ
検診・予防接種が受けられる場所がないか。以前は、大師とかにあったが。子育てしや
かんきょう たいせつ
すい環境づくりも大切。

じむきょく よぼうせつしゅ くやくしよ ほけんじょ こ う
事務局 予防接種そのものは、すべて区役所や保健所に来なければ受けられないかという
きんじょ かいぎょうい せんせい う
とそうではなくて、近所の開業医の先生のところでは受けられます。

すずきいいん のぞ ぜんぶびょういん しんりょうじょ う
鈴木委員 BCGを除いて、全部病院・診療所で受けられます。

あらいいいん かあ たち じょうほう でんたつ
新井委員 それは、お母さん達には、情報が伝達できているのですか。

事務局 手紙の中に受けられる医療機関を併せて通知しています。前回の資料の中に乳
幼児の方達の接種率は、高いと出ています。お母さん達が赤ちゃんの時は気にされて、
予防接種を受けさせている。どこから低くなるかというと小学校5年から高校に向けて風
しんとかの予防接種の接種率が落ちている。周りで、風しんとかが流行っていれば予防
接種を受けにいかせなきやと思えますが、そうでないと費用も掛かってしまうケースも
あるので、落ちていくのかなと思えます。前回、皆さんに年齢が上がると接種率が落ち
るという資料を出しています。

新井委員 要因の1つとしては、子どもが忙しいのかなと思えます。

深澤委員 うちがまさしく、小学校6年生で、予防接種時期ですが、受けていません。子
どもの生活状況と親の状況が合わずに行く機会を逃している。受けなくてはと思っ
ていても、何歳までにと思いつつ、なかなかタイミングが合わない。

新井委員 子どもとスケジュールが合わないとかあるのですね。

深澤委員 年齢が上がってくると予防接種を受ける期間が長かったりする。

事務局 みんなの予定を無理やり合せて行くというより、タイミングがあったら行くとい
う感じになってしまう。

石渡部会長 他にどうですか。前回、ご出席いただいた委員の中にもう少し、補足した
いというご意見ありますか。

右側の部分を整理したいのですが、1. 地域における健康の推進の中の(2)予防接種や
住民健診の案内が外国人市民にとって専門用語が多く、わかりづらい。この項を3.

がいこくじんしゅみん す い おも ちいき
外国人市民も住みやすいまちづくりに入れたいと思います。なので、1. 地域における
けんこう すいしん さんこうしりょう じむきょく せつめい
健康の推進の(3)を(2)にしてもらいたい。参考資料3というのがあって、事務局から説明
ねが
をお願いします。

じむきょく さんこうしりょう せつめい
事務局 <参考資料3について説明>

かわさきしな い す がいこくじん みな いちりつ きょうつう て ー ま
P46・P47川崎市内に住んでいる外国人の皆さんに一律に共通したテーマということで、
ていげん いただ じょうほう でんたつ かわさきく がいこくじん かた
いろいろ提言を頂いている。情報の伝達については、川崎区の外国人の方だけがもら
えしていないわけではなくて、あさおく たまく なかはらく おな じょうきょう す
麻生区も多摩区も中原区も同じ状況。どうしたら住みや
まち だいひょうしゃ みな いけん いただ かわさきぜんたい
すい街としてやってもらえるのか、代表者の皆さんからご意見を頂いて、川崎市全体の
とく こと いただ とりくみじょうきょう らんく
取り組みという事で、やらせて頂いている。P46で取組状況。Aというランクのも
いってい せいか だ みな ていげん いただ とりく せいか あ
のは、一定の成果を出したものだ。皆さんからご提言を頂いて、取組んだ成果が上がって
たんとう きょく とりく さいちゅう りかい いただ
いる。Bについては、担当している局に取組んでいる最中のものをご理解を頂きたい。

じむきょく かわさきし がいこくじんしゅみんだいひょうしゃかいぎ しゃかいせいかつぶかい たかはしいん の
事務局 P4に川崎市外国人市民代表者会議・社会生活部会に高橋委員が載っています。P88
がいこくじんしゅみんだいひょうしゃかいぎ しゅく の ねん かいぎ かい かかんおこな
には、外国人市民代表者会議の仕組みが載っています。年に会議が4回で8日間行っ
かい かつか なか ぎろん いただ しちよう ほうこく しちよう
ています。1回あたり2日使っている。その中で議論して頂き、市長に報告する。市長
ほうこく う かんけいきょくく ていげん だ とく
が報告を受けたものについて、関係局区にこういった提言が出されているので、取り組
ぎろん なか じょうほう かん ねん がいこくじんしゅみんだいひょうしゃかいぎ じょうれい
むように議論をしている。その中に情報に関しても1996年に外国人代表者会議が条
せっち ぎろん
例設置されてから議論がされてきた。

いしわた ぶ かいちよう がいこくじんしゅみんだいひょうしゃかいぎ なか かわさきしゅみんぜんたい きょうぎ
石渡部会長 外国人代表者会議というものがあまして、その中で川崎市全体の協議
けんとう かわさきくどくじ もんだい かだい くみんかいぎ ついきゅう きょう
検討をしていく。川崎区独自の問題・課題があれば、この区民会議で追及する。今日の
かいぎ て ー ま けつてい どうじ しりょう きょう かいぎ ちょうさしんぎ せつてい て ー ま
会議は、テーマの決定と同時に資料2にある今日の会議の調査審議の設定では、テーマに
かん げんじょう ちょうさ ぶんせき
関する現状の調査・分析になっています。

はらいん がいこくじんしゅみん がいこくじんしゅみんだいひょうしゃかいぎ ほうこく
原委員 3. 外国人市民も住みやすいまちづくりのところで、外国人代表者会議の報告は、

わたし しょくば ほう き ないよう し こうほう じっさい たげんごか
私の職場の方にも来ていて、内容はよく知っています。広報とか実際に多言語化してい
るのだけれど、それが生活している外国人市民の方に届いていないというところの検証
ができたらと思っています。関係機関の人にヒアリング調査が出来るということなので、
くやくしょ まどぐち ひとたち いけん なま こえ き けんしょう ざいりょう よ
区役所の窓口の人達の意見・生の声が聞きたい。検証する材料ができれば良い。

いしわたぶ かいちょう ぐたいてき たいおう ころう し じったい し かんけいぶしょ
石渡部会長 具体的な対応の苦勞を知りたい。実態を知りたいというところで、関係部署
かた よ はなし き
の方を呼んでお話を聞きたい。

じむきょく ぶしょ がいこくじん かかわ い み よぼうせつしゅ かんけい
事務局 すべての部署が外国人と関わっているの、そういう意味では、予防接種の関係
まどぐち しょくいん よ て ー ま じったい はあく
を3.にもってきたので、その窓口の職員を呼ぶとなると2つのテーマの実態が把握
できる。

いしわたぶ かいちょう じかいかんけいぶしょ かた よ はなし き
石渡部会長 次回関係部署の方を呼んで、いろいろお話を聞く。

すずきいん よぼうせつしゅ じゅうふく げんば なま こえ き いけん
鈴木委員 予防接種について重複しますが、現場の生の声が聞きたいというご意見でした
どうかん かわさきく せつしゅりつ ひく いしかい ぼすたー
が、まさに同感です。どうして、川崎区だけ接種率が低いのか。医師会もPRしてポスター
は だい かい ぶかい かわさきく がいこくじんしみん おお なかはらく おお
とか貼っているのですが、第1回の部会で川崎区も外国人市民が多いが、中原区も多い
なかはらく よぼうせつしゅりつ たか じじつ ほんめい がいこくじん おお せつしゅりつ ひく
が、中原区は予防接種率が高いという事実が判明した。外国人が多い＝接種率が低いと
かせつ な た げんば こえ し
いう仮説は成り立たない。現場の声が知りたい。

いしわたぶ かいちょう ぜんかい ちいきほけんふくしか かた せつめい こ ひく
石渡部会長 前回、地域保健福祉課の方が説明に来られたが、なぜ低いかわからないと
はなし
いうお話だった。

じむきょく ちいきほけんふくしかちょう じむしょく よぼうせつしゅ じっさい まどぐち ほけんし たいおう
事務局 地域保健福祉課長は、事務職ですが、予防接種を実際に窓口で保健師が対応し
たんとく ほけんし よ みなさま つた
ているので、担当の保健師を呼ぶことで皆様にお伝えする。

原委員 7月から外国人登録法が変わって、住民基本台帳法に移行した。日本国籍の人と同じように住民基本台帳法が変わったので、世帯主が外国籍の人、世帯主は日本人だけれど配偶者（奥さん）が外国籍の人、外国籍の人が情報に困っている時に従来は外国人登録と住民登録と分かれていたので、ある程度見えやすかったが、登録が一緒になっていった場合にどういシステムになっていくのか、今後は課題になってくる。広報のあり方もこれから変わっていくのか。

事務局 以前は、分かれていたものが、今回一緒になることで、判別ができなくなるということですか。

原委員 在留の場合、法務省の入国管理局で在留更新をします。住所の変更届だけは、区役所で受ける形だと思いますが、区役所の方に住民基本台帳があって、その中の世帯の中で外国人の人と外国人と日本人の混合世帯の人もある。広報のあり方が今後どういう形になっていくのかが、課題になってくるのではないかと。

事務局 法改正があって、施工が24年7月ということで、3年かかってされている。外国人市民を対象に行政が何か通知を出す時に今までは、分かれていたからすぐわかるけれど、世帯単位で1つの通知がいくときに課題があるのではないかと。1つは、法改正がされて、その部分の検証がされていないのが現状です。まずは、法が変わって、在留資格・外国人登録の更新の手続きをスムーズにやっていただきたいというお手紙は、すべての外国人市民の方にお出しをしている。ダイレクトメールがきちんと届いているかどうかまだ、検証の段階だと思います。所管がこども市民局の戸籍住民サービス課になると思うので、こちらの方でも新たな情報があれば、部会の方に提出します。

石渡部会長 これは、3.(2)で、伝達方法の仕組みなので、新しい情報がわかり次第教

ほか
えていただく。他にございますか。

こいずみいん こ ちいき ささ こ い ちから て ー ま こ ちいき
小泉委員 2. 子どもを地域で支える、子どもの生きる力というテーマで、子どもを地域
ささ ちから おも
で支えることに力をだしたいと思う。

いしわた ぶ かいちょう とく て ー ま なか かた よ いただ はなし き
石渡部会長 特に3つのテーマの中でこういう方呼んで頂いて、話を聞きたいという
かた だ
方がおられれば、出してください。

はらいいん たと かた よ
原委員 例えば、どういう方でも良いのですか。

いしわた ぶ かいちょう て ー ま かだいかいけつ よ
石渡部会長 このテーマの課題解決のために呼ぶので。

あらいいいん こ い ちから むずか て ー ま おも せんじつみんせいいいいん
新井委員 2. 子どもの生きる力は、とても難しいテーマだと思います。先日民生委員で
きょういくいいいんかい こうし よ けんしゅうかい くいき なか もんだい ふとうこう
教育委員会から講師呼んで研修会しました。区域の中でいじめ問題とか不登校の
じったい じつれい たい がっこうがわ たいさく じつれい き ぐたい
実態とか実例に対して、学校側がどういう対策しているのか。実例を聞くことが、具体
さく
策になるのかどうか。

いしわた ぶ かいちょう こ い ちから そだ とぎ そだ ふとうこう
石渡部会長 子どもの生きる力を育てる時にどうやって育てるのか。不登校・ひきこも
しょうがいしゃ けんじょうしゃ こ ぜんたい かんが み しぼ
りや障害者や健全者もいるし、子ども全体を考えてやると見えないので、絞らないと
わからない。ここでいう、子どもはどのような子どもをイメージするのかが、第一に出て
くる。幼稚園～中学生ぐらいまでを対象になるのかなとイメージしています。その子た
こうれいしゃ こうりゅう ぼしよ かんが い ちから ひと ひと まじ
ちと高齢者が交流できるような場所を考える。生きる力とは、人と人が交わり、
しぜん み つ ちから じっさい なに いっしょ ちから う
自然と身に付いていく力。まずは、実際に何かを一緒にやらないと力は生まれてこな
い。その1つの窓口になるのが、子ども文化センターの職員の方、老人いこいの家の方
こそだ さろん りーだー かた ちゅうしん おこな ねん
か、子育てサロンをなさっているリーダーか。そういう方が中心になって行く。年に
すうかい まじ ば つく いめーじ かか ひと れんけい
数回でも交わる場を作るイメージもっています。それに関わる人たちと連携していく。

そういった団体の部分と連携していくとモデル地区のようなものが出来るといいのではないか。カローリングと同じように1つの地区に1つ行われることによって、それが他の地域に広がっていく。まずモデル地区のようなものを区民会議で提案して実施していったらいいなというイメージを持っている。

深澤委員 子どもの生きる力といった時に人とのつながりが大事だと思う。その中に幼稚園生ぐらいまでだと親と一緒に来るのですが、小・中・高校生になってくると親を除いた子どもと地域の方・他の大人との関わり方が大切になってくる。親を除いた他の大人との関わり方を学んでいく場があると意見を吸収したり、いろんな経験をすることで成長していく。最近では、一人っ子が多くて親が過保護になっていると思うので、親を除いた他の大人とのつながりを作ってあげられる場があると生きる力につながっていく。

高橋委員 子ども達がお互いに尊重しあう環境を作るのが大事です。大人から考えを直す必要があると思います。子ども達が大人をちゃんと見て学んでもらわないといけません。いじめの問題は、社会の問題になっている。私の娘が小学校の時にいじめにあって、一人の生徒さんがお母さんに話をしました。それによってそのお母さんが私に話をしてくれて、大事にいたりませんでした。2年間お迎え・送りの状態でした。PTAに協力して頂きました。先生からのいじめについて言えなかったが、中学生になって話してくれました。家庭での教育は、もっと必要だと思います。

石渡部会長 その辺りは、どうやって深めていけばいいでしょうか。

高橋委員 いじめは、社会問題ですが、私達も考えていかないといけないと思います。

石渡部会長 具体的には、いじめは、学校で行われるので、学校教育の問題になると思

くみんかいぎ あつか むずか おも
います。区民会議で扱うのには、難しいと思いますが、いかがですか。

はら いいん がっこう きょういく ないよう ぜんこくてき しんこく
原委員 学校教育の内容というよりは、全国的に深刻なことになっています。
すくーる かうんせらー かくち せっち おも じっさい けーす
スクールカウンセラーが、各地で設置されていると思いますが、実際にどういうケースで
くるう げんば こえ き すくーる かうんせらー かたち う
苦勞されているとか現場の声が聞きたい。スクールカウンセラーの方達が受けるよう
もんだい 民生委員や保護司の方に相談が来るかもしれませんが、学校のことと地域のこ
な問題が民生委員や保護司の方に相談が来るかもしれませんが、学校のことと地域のこ
とが教育と福祉のつながり、具体的にどういうつながりだと回路が出来るのかが、これ
きょういく ふくし ぐたいてき かいろ でき
とが教育と福祉のつながり、具体的にどういうつながりだと回路が出来るのかが、これ
かだい かん
からの課題なのではないかと感じている。

じむきょく かわさきし なか かくく こ しえんしつ きょういくいいんかい しどうしゅじ はい
事務局 川崎市の中では、各区の子ども支援室に教育委員会の指導主事が入っているの
ちいき なか ふくし きょういく いっしょ うご すくーる かうんせらー はなし き
で、地域の中で福祉と教育と一緒に動いている。スクールカウンセラーにお話を聞く
かのう おも こじんじょうほう ほんい だ かわさきく じれい
のは可能だと思いますが、個人情報範囲でどこまで出せるのか。それが、川崎区の事例
こじんじょうほう ひ こ しえんしつ きょういくたんとう かわさきく
になるとより個人情報に引っかかってくる。子ども支援室の教育担当と川崎区の
しょうがっこう ちゅうがっこう じょうきょう かだい かわさきく とくしょく かだい
小学校・中学校の状況についてどういう課題があるのか、川崎区の特徴・課題とし
しめ おも
て示せると思う。

はら いいん ふくくちょう かたち じったい し よ
原委員 副区長さんがおっしゃった形でも実態が知っていただければ良い。

こいずみいいん こ もんだい がっこう せんせい はなし こ こ ちが
小泉委員 子どものいじめ問題について、学校の先生と話をしましたが、個々によって違
そうろん いっぱんろん き でき しゅうだん せいかつ なか
うし、総論にはなかなかいかない。一般論を聞くことは出来るが、集団の生活の中でこ
な むずか いけん ちが こ ばあい あそ もんだい
れを無くしていくのは、難しい。ちょっとした意見の違いや、子どもの場合、遊びの問題
えす かれーと けっかてき もんだい はってん な
からエスカレートするのが結果的にいじめの問題にも発展する。こうしたらいじめが無
ぐたいてき な はじ
くなるという具体的なものは無い。いじめはこうして始まるとか、こういうものがいじ
にんげんしゅうだん なか もんだい かわさきくみんかいぎ と むずか
めだとか、人間集団の中において、いじめの問題を川崎区民会議で止めるのは難しいと
かなが みんせいいん でき こと おんがく とお せだいかんこうりゅう
考えます。民生委員として出来る事は、音楽を通して世代間交流をやっていましたが、
かい けいぞく たいへん ちいき としよ きょうまち しょうぼう
1回きりで継続してやるには大変なことであります。地域のお年寄りが京町の消防

かいかん りよう つき かいあつ い ご しょうぎ こ たち おし
会館を利用して月1回集まって、囲碁とか将棋をやっていたので、子ども達に教えてく
れないか聞いたたら、喜んで教えますという返事があった。こういう事で、子どもに生き
ちから きょうりよく きょういくいんかい はなし き ぐたいてき
る力をつけるのは協力できますが。教育委員会のお話を聞くにしても、具体的にこ
うしたらいじめがなくなるという問題定義が出来ない。こういう例があつて、こういう
かいけつ い
解決をしましたということは、言えますが。

いしわた ぶ かいちょう じつたい はなし き くみん
石渡部会長 いじめの実態の話 を聞きたいということですが、区民にこういういじめの
もんだい なに でき してん た か うんせらー かつ はなし うかが
問題について何が出来るのかという視点に立って、カウンセラーの方からお話を伺う。
かわさきく やくしょ こ しえんしつ か うんせらー よ
川崎区役所の子ども支援室のカウンセラーさんと呼ぶ。

じむきよく すくーる か うんせらー すくーる そーしゃる わーかー か うんせ
事務局 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとあるのですが、カウンセ
ラーとなるとまた別になるので、どちらが宜しいですか。スクールカウンセラーになる
こべつ こ ため うご こじんじょうほう おのおの けーす ちが いっぱんろん
と個別の子どもの為に動くので、個人情報とか、各々ケースが違うので、一般論になっ
てしまう。かわさきく くだい ぶぶん じょうほうていきょう こ
川崎区の課題になっている部分について情報提供ということならば、子ど
しえんしつ ほう よ おも
も支援室の方が良いと思います。

いしわた ぶ かいちょう こ しえんしつ きょういくたんとどう かつ ねが わた
石渡部会長 子ども支援室の教育担当の方をお願いいたします。さし渡しをするような
まどぐち ぶぶん くみんかいぎ ていあん さいしゅうてき う い ばしょ
窓口の部分で区民会議で提案するとよいのではないかと。最終的には、受け入れ場所です
こ いばしょ どうじ ばしょ わたしたち かんが
が。子どもの居場所と同時にどういような場所を私達が考えたい。

じむきよく くに ほう ほうかごこ ぶらん もんぶかがくしょう ほう だ
事務局 国の方で、「放課後子どもプラン」というものを文部科学省の方で出しています。
なか せだいかんこうりゅうてき こうれいしゃ かつ こ たち いばしょ き むかし ぶんかでんしょう つた
その中で、世代間交流的な高齢者の方が子ども達の居場所に来て、昔の文化伝承を伝
じぎょう なか おこな ぼ こ ぶんかせんたー
えていくものも事業の中に入れていく。それを行う場としては、子ども文化センターや
ぶらざ つか こ ぶんかせんたー ぶらざ しょかん こ
わくわくプラザを使っています。子ども文化センターやわくわくプラザの所管が子ど
しえんしつ しょかん きょういくたんとどう こ しえんしつちよう よ ていあん
も支援室が所管しているので、教育担当と子ども支援室長も呼んで、こういった提案が
ちいき かつ で こ ぶんかせんたー じゅう つか へや
地域の方から出ている。子ども文化センターには、自由に使える部屋があるので。

いしわた ぶ かいちょう まどぐち き ほか はきゅう で き
石渡部会長 窓口が決まってくると他にも波及出来る。

さきほど よぼうせつしゅ もんだい じゅうみんけんしん じゅしんりつ ひく
先程の予防接種の問題になりますが、住民健診の受診率が低いということがあって、
ほけんしん よ ていあん あんけーとちょうさ
保健師さんをお呼ぶということもありますが、そのほかに提案ですが、アンケート調査
したらどうか。しょう ちゅうがっこう たい こうがくねん じゅしんりつ ひく
小・中学校のPTAに対して「なぜ高学年になると受診率が低くなるのか」
おや もんだい せいかつ もんだい かわさきく もんだい ぜんかい いちぶ はなし
親の問題なのか、生活の問題なのか、川崎区の問題なのか。前回、一部お話がありました
いしきちょうさ きほんじつ はたいいん かんけい とお ちょうさ
たが、意識調査として聞いてみたい。本日は、秦委員がいませんが、PTA関係を通して調査
おも
をしてもらおうと思っています。

ふかざわいいん いま さい う よぼうせつしゅ つうち き すで
深澤委員 ちょうど今、11～13歳までに受けてくださいという予防接種の通知が来て、既に
ねんはん た こ なら こと じぶん つごう さい おも
1年半ほど経っています。子どもの習い事と自分の都合があわずに13歳までかと思いつ
の の でんわ よやく い じょうきょう で き
つ伸び伸びになっている。まず、電話をして予約を入れてという状況で、なかなか出来
ねんせい まいにちなら こと こ おお ちゅうがくじゅけん こ
ずにいます。5～6年生になると毎日習い事という子が多い。中学受験をする子がすごく
おお こ じかん げんじょう どにち う びょういん
多くて、子どもの時間をつくれなれないのが現状。土日だと受けられなかったり、病院によ
よぼうせつしゅ なんようび き お あ の
っては、予防接種は何曜日ですと決まっています、折り合いがつかずに伸びています。

すずきいいん くに よぼうせつしゅじぎょう ぎ む くに こくみん まも ほうりつ あんしん いんりょうすい
鈴木委員 国の予防接種事業は、義務ではない。この国の国民を守る法律、安心な飲料水
かくほ つぎ だいじ じぎょう いちづ よぼうせつしゅ なお
を確保する次に大事な事業に位置付けているはず。予防接種というのは、かかると直ら
びょうき よぼうせつしゅ こと よぼうほう くに
ない病気を予防接種する事によって、かからないようにするという予防法である。国の
せいさく せいさく りかい いただ かなら う よぼうせつしゅ
政策でやっているということを理解して頂きたい。必ず受けてもらうのが、予防接種。
わ く ち ん びょうき りかい じゅく ぶかつ
ワクチンをうつことによって、病気にはかからない。それを理解したうえで、塾や部活
おも おも はしわた ぎょうせい いしかい おも よぼう
をしてほしいと思います。それを橋渡しするのが、行政と医師会だと思っています。予防
せつしゅほう ぎ む ひとこと か
接種法には、義務だとは一言も書いていない。

あらいいん よぼうせつしゅ い み がっこう う ほうほう
新井委員 予防接種にこれだけの意味があるならば、学校で受けさせる方法は、とれない
のですか。

すずきいいん むかし がっこう なら よぼうせつしゅ いんふるえんざ よぼうせつしゅ
鈴木委員 昔、学校で並ばせ予防接種をやっていました。インフルエンザの予防接種をす
ればインフルエンザにかからないので、やりましょうといていたが、インフルエンザに
かかってしまい、マスコミがそれをたたいたので、インフルエンザの予防接種は、パタッ
とすたってしまった。ところが、しばらくして高齢者がインフルエンザで死亡する率が上
がった。子ども達を予防するという事は、高齢者も予防することになる。これによって
インフルエンザの予防接種率は上がっている。学校でやるということは、難しい。学校
のカリキュラムが立て込んであるので、合せるのが大変。

あらいいん じだい じだい かんが ひつよう
新井委員 時代が時代なので、考える必要があるのではないか。

はらいいいん がっこう ちいき びやういん せいと じゅんばん い う
原委員 学校でやるのではなくても地域の病院へ生徒たちが順番に行って受けるとか、
がっこう つう てがみ せつしゅりつ か
学校を通じて手紙がきたら接種率が変わるのではないか。

あらいいん こ じじょう おや じじょう じかん
新井委員 子どもだけの事情ではなく、親の事情もあって、なかなか時間をつくれな
じょうきょう じじょう くりあ ほうほう ひりつ あ
状況でもある。どこかで事情をクリアにする方法をとらないとこの比率は上がって
おも
かないのかと思います。

はらいいいん こうがくねん こ はなし で だいぜんてい しんがたいんふるえん
原委員 高学年のお子さんというお話が出てきたので、大前提として、新型インフルエン
ざ で ちゅうがくせい じぶん びやういん い こと で き
ザとかも出てきているので。中学生なら自分で病院に行く事も出来ると思う。

いしわたぶかいちょう き くみんかいぎ もんだい と あ けんこうでまえこうざ おこな
石渡部会長 3期の区民会議もその問題が取り上げられて、それで健康出前講座を行っ
た。4つの中学校で行った。予防接種というテーマで話をするのは難しい。喫煙とか
しょくせいかつ て 一ま う よぼうせつしゅ もんだい
食生活とかだとテーマとして受け入れやすいが、予防接種の問題になるとほんの2～3
ぶん はなし せんもんてき ひと こ どうじ
分のPRになる。この話をするには、専門的な人がしないといけないし、子どもと同時に
おやご はなし
親御さんへのお話になる。

原委員 健康出前講座のことは、地域のことなので桜本中学の校長先生からとても良かったと話を聞いています。区民会議で是非続けてほしいというお話が出ています。

石渡部会長 私も桜本中学に見学にしてみました。出前講座の担当者が全力を尽くしてくれたのですが、本来の業務が出来ないので、1年間で勘弁してほしいということで、今年度は出来ない。

事務局 私は、以前病院にいました。感染症関係のお話は、例えばエボラとかよその国の話を聞いて、テレビでワイドショーを見ているような感じですが。近所で日本脳炎が発生したといえば、親御さんの予防接種の優先順位が塾や部活よりずうっと上にあがると思います。しかし、接種するのに一人につき1000～2000円かかるので、優先順位が下がってしまう。先程鈴木委員がおっしゃっていた子どもさんがというのは、子どもさんが感染源になるので、外出しない高齢者にもうつすことがある。自分の子どもが熱を出すのは心配だが、その子が外でまき散らしてくるかという事まで考えていない。感染症だけで人を集めて話をする、本気になって話を聞いてもらうのは、いいタイミングで話さないといけないと思います。

石渡部会長 3期でやったことは、4期ではやらないということで、やれることは、予防接種・住民健診の受診率をあげる。外国人市民への情報の届け方の問題にもどりますが、前回教会に沢山の人が集まるというお話がありました。そこに行政の人が行くのは問題がある。会場を教会ではなくて別の場所にして、説明に行くぶんには、問題がないと思う。別な会場に集まって頂いて、色々な情報をお話してもらう。言語が沢山あるので、そこら辺りは、どうですか。

事務局 説明する人間は、区の職員だったりするので、会場に集まって頂く方は、

にほんご わ かた ひと くちこみ ひろ ほう かくじつ
日本語の分かる方でその人たちから口コミで広げていってもら方が確実ではないか。
じょうほうでんたつ ちゅうしん ひとたち き いただ
情報伝達の中心になるような人達に来て頂く。

はらいいん かわさきく こみゆにけーしょんぼらんていあ ほんやく つうやくじぎょう びょういん
原委員 川崎区のコミュニケーションボランティア、翻訳・通訳事業がある。病院にいて
つきそ そうだん おな ひとたち こみゆにけーしょんぼらんていあそしき
ほしい付添いの相談もくるので、同じ人達がコミュニケーションボランティア組織にな
まいとし かいがいこくじん ひとむ むりょうけんこうしんだん けんこうしんだん ぼしょ
って、毎年1回外国人の人向けの無料健康診断をやっている。そういう健康診断の場所の
とき はなし とき たげんご つうやく かた
時にお話をやったらどうか。その時は、多言語の通訳の方もいるので。
こみゆにけーしょんぼらんていあ しみんきょく だんじょじんけんさんかくしつ ほう なに きょうどう じぎょう
コミュニケーションボランティアは、市民局の男女人権参画室の方に何か協働で事業を
も じつげん いた けんげん くやくしょ いじょう
しませんかと持ちかけたりしているが、実現に至っていない。権限が区役所に委譲され
じだい けんこうそうだんかい とき れんけい で き けんしん ひと く
ている時代なので、健康相談会の時に連携出来たら、健診にもたくさん人が来るので、
じかん き はなし もでるけーす よ
時間を決めてお話をすれば、モデルケースとしては良いのではないか。

いしわたぶ かいちょう たかはしいいん ほう ひとたち あつ ちょうさ はらいいん
石渡部会長 高橋委員の方でそういう人達が集まれるかどうか調査してください。原委員
ほう ちょうさ ねが じむきょく ほう しりょう すけじゅーるせつめい ねが
の方も調査お願いします。事務局の方で資料2のスケジュール説明をお願いします。

じむきょく しりょう そ せつめい
事務局 <資料2に沿って説明>

じかい がつ ちゅうじゅん ぶかい ほう しさつ い りんかいぶ くに
次回、10月の中旬あたりにまちづくり部会の方で視察を入れてあります。臨海部の国の
ぼうさいきょてん けんがく かいがんせん み じゅんしせん の うみ ほう
防災拠点の見学と海岸線を見ておきたいということで、巡視船に乗って、海の方から
こうじょうちたい み けいかく ぶかい だい かい ぶかい
工場地帯を見る計画があります。まちづくり部会の第4回になりますが、こちらの部会
み かた じゅう さんか についで き れんらくいた につちゅう
でも見てみたい方は、自由に参加してください。日程が決まったらご連絡致します。日中
じかんとい さんか
の時間帯になりますが、よかったらご参加ください。

じむきょく ぶかい くみんかいぎぜんたい しさつ いち だい かい ぶかい
事務局 部会は別ですが、区民会議全体の視察という位置づけですので、第4回の部会に
なります。

じむきょく についでき じ こうじょうちたい いるみねーしょん み
事務局 日程的には4時ぐらいになるので、工場地帯のイルミネーションが見れるかもし

れません。これは、一つの観光資源にもなっています。

石渡部会長 スケジュールについて何かありますか。

事務局 <参考資料1～3について説明>

石渡部会長 京都府の例ですが、京都府ひきこもり相談支援センターが平成17年6月に出来ていて「ひきこもりガイドライン」に沿った相談窓口を作って、支援体制を充実させようという取り組みがなされている。電話相談や専門の方による面接相談、家族教育が実際に行われている。精神保健福祉センターが全国都道府県に1つ設置されている。政令市も1つ設置されている。この話を聞きたいなと思っているのですが、神奈川県の場合に川崎市にそういうものがあるのかどうか。関わるところで、この事例を聞きたい。

事務局 精神保健福祉センターは、川崎市にもあります。その分室がこの区役所の4階にもあります。精神保健福祉センターは、本庁舎のすぐそばにあります。川崎市の中での様子を聞くのは可能かと思えます。精神保健福祉センターに来る中には、ひきこもりの方もいると思いますが、ひきこもり・不登校の高校生ぐらいまでのお子さんを対象にした時に川崎市の中では、「夢パーク」というものが高津区にあります。そこで引きこもりの関係の相談も受けています。ひきこもりの要因の一つといわれている発達障害の方につきましても、川崎市の中に発達障害支援センターの相談窓口があります。部会長がおっしゃった話で、どこの方をお呼びしたらよいか。

石渡部会長 具体的にはどういう窓口があって、その相談窓口がどういう形で関係機関に紹介されていくのかを知りたい。窓口の業務がどういうものなのか。川崎区の中で窓口として行政で設定するのか、民間がかんがえられるのか、子ども文化センターが

まどぐち あた かんけい かわさきく ばあい こ いばしよ
窓口になるのか、その辺りの関係を知って、川崎区の場合、子どもの居場所につなげる
い
ように生かせないか。

じむきょく いま はなし いちばんちか ゆめばーく とりく ちか おも さきほど
事務局 今のお話ですと一番近いのが「夢パーク」の取組みが近いのかと思います。先程
はな せいしんほけんふくしせんたー はったつしょうがいしえんせんたー いりょうてき かんふあ
お話しした精神保健福祉センターや発達障害支援センターの方ですと医療的なカンファ
れんす ふく そうだん しりょう あつ ぶかいちょう そうだん
レンスも含む相談をしている。こちらで資料を集めて部会長に相談させていただいてそ
うえ よろ
の上で宜しいですか。

いしわた ぶかいちょう よろしく ねが
石渡部会長 宜しくお願いします。

じむきょく だい かい ぶかい しゅうりょう いただ
事務局 第3回の部会を修了させていただきます。

じむきょく ちょうじかん わた ぎろん いただ ど くせい しゅうねん
事務局 長時間に渡り議論を頂きありがとうございます。11月24日（土）に区政40周年の
いべんと かいさい よてい ばしよ ろうどうかいかん くみんかいぎふおーらむ あわ
イベント開催を予定しています。場所は、労働会館で、区民会議フォーラムを合せてし
けんとう さいちゅう かくど かわさき み いただ よと
ていくことを検討している最中です。いろんな角度から川崎を見て頂き、より良い取り
ぐ く ほう で き よ かんが
組みが区の方で出来たら良いと考えております。

いじょう へいせい ねんどだい かいかわさきくみんかいぎせんもんぶかい しゅうりょう
以上で平成24年度第2回川崎区区民会議専門部会を終了します

ごご じ ふん へい かい
午後 8時30分 閉会